グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式ファンド（愛称：サブスク）

運用報告書（全体版）

第４期

（決算日　2024年１月22日）

（作成対象期間　2023年７月21日～2024年１月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、サブスクリプション型ビジネスを行なう企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2022年１月21日～2027年１月20日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドの受益証券	
	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（ＤＲ（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

◇TUZ0346720240122◇

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1期末（2022年7月20日）	10,325	150	4.8	10,347	3.5	98.4	—	3,175
2期末（2023年1月20日）	9,520	0	△ 7.8	9,956	△ 3.8	98.4	—	2,783
3期末（2023年7月20日）	11,037	350	19.6	12,210	22.6	97.7	—	2,048
4期末（2024年1月22日）	11,232	1,200	12.6	13,464	10.3	97.7	—	1,375

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について

（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：11,037円
期　末：11,232円（分配金1,200円）
騰落率：12.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

世界株式市況が上昇したことや、為替相場で対米ドル主導で円安が進行したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首)2023年7月20日	11,037	—	12,210	—	97.7	—
7月末	11,029	△ 0.1	12,390	1.5	97.4	—
8月末	11,243	1.9	12,548	2.8	98.0	—
9月末	11,033	△ 0.0	12,277	0.5	97.4	—
10月末	10,669	△ 3.3	11,870	△ 2.8	97.8	—
11月末	11,625	5.3	12,747	4.4	98.3	—
12月末	11,882	7.7	12,958	6.1	98.1	—
(期末)2024年1月22日	12,432	12.6	13,464	10.3	97.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2023. 7. 21 ～ 2024. 1. 22）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年８月中旬にかけて、米国の力強い経済指標やインフレ率の高止まりを受けて長期金利が上昇したことが嫌気され、軟調に推移しました。９月のＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）において政策金利の見通しが引き上げられたことなどから、10月末にかけて一段と下落しました。しかしその後は、欧州の物価指標の伸び率が鈍化したことや、米国雇用市場の過熱感が緩和されたことなどから反発に転じ、12月のＦＯＭＣにおいて政策金利見通しが引き下げられ、利下げ開始時期が早まるとの期待が高まったことから、株式市況は当作成期末にかけて大幅に上昇しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より2023年11月中旬にかけて、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、上昇しました。その後12月末までは、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識されて米ドルは対円で上昇幅をいったん縮小したものの、2024年に入ると、景気が市場想定以上に堅調に推移していることが明らかとなり、再び米国金利が上昇に転じたことなどに伴い、当作成期末にかけて上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および１人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

ポートフォリオについて （2023. 7. 21 ～ 2024. 1. 22）

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

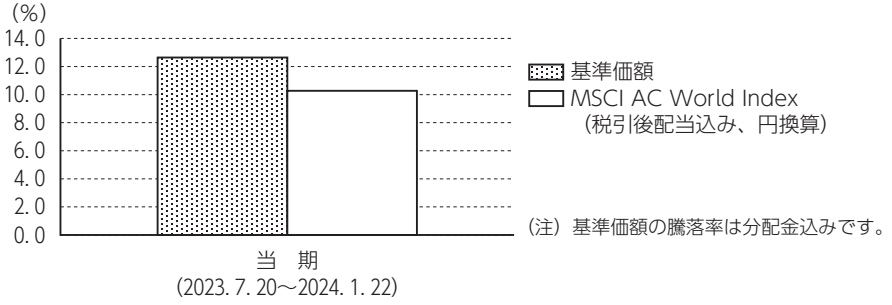
■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントは、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			当期 2023年７月21日 ～2024年１月22日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**1,200**
	対基準価額比率	（%）	9.65
	当期の収益	（円）	1,200
	当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額		（円）	1,232

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	当期	
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓	47.03円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,346.88
（ｃ）収益調整金		186.43
（ｄ）分配準備積立金		851.90
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）		2,432.25
（ｆ）分配金		1,200.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）		1,232.25

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および１人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

1万口当りの費用の明細

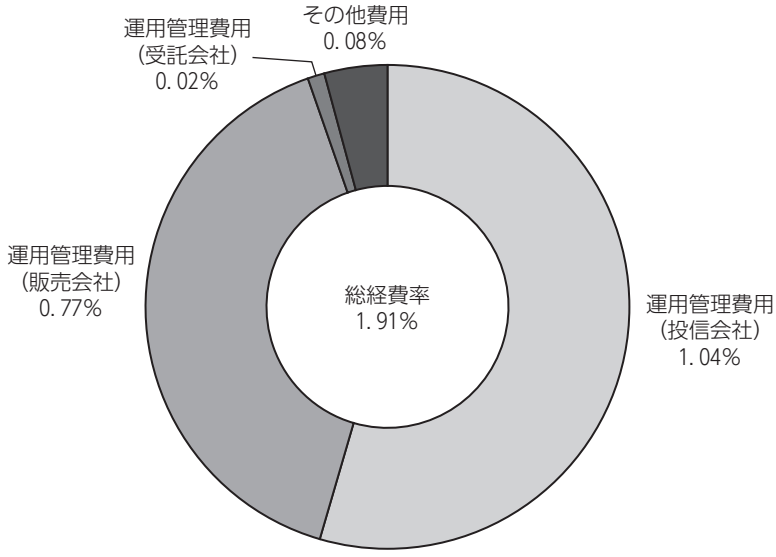
項　　目	当　期 (2023. 7. 21～2024. 1. 22)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	106円	0. 934%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11, 309円です。**
(投 信 会 社)	(60)	(0. 531)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0. 391)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0. 056	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株　　式)	(6)	(0. 056)	
有価証券取引税	0	0. 004	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株　　式)	(0)	(0. 004)	
そ の 他 費 用	5	0. 041	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ　の　他)	(1)	(0. 006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	117	1. 035	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2023年７月21日から2024年１月22日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	15,321	18,200	721,602	894,100

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年７月21日から2024年１月22日まで）

項目	当期
	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	1,199,944千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	1,667,141千円
（c）売買高比率 （a）／（b）	0.71

（注１）（b）は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	1,713,982	1,007,702	1,365,839

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年１月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド	1,365,839	88.5
コール・ローン等、その他	177,235	11.5
投資信託財産総額	1,543,074	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、１月22日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝148.20円、１イギリス・ポンド＝188.35円、100インドネシア・ルピア＝0.95円、１ユーロ＝161.52円です。
（注３）グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,315,542千円）の投資信託財産総額（1,376,425千円）に対する比率は、95.6％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年１月22日現在

項目	当期末
（A）資産	**1,543,074,448円**
コール・ローン等	171,535,025
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド（評価額）	1,365,839,423
未収入金	5,700,000
（B）負債	**167,753,132**
未払収益分配金	146,932,651
未払解約金	4,931,700
未払信託報酬	15,841,447
その他未払費用	47,334
（C）純資産総額（A－B）	**1,375,321,316**
元本	1,224,438,765
次期繰越損益金	150,882,551
（D）受益権総口数	**1,224,438,765口**
１万口当り基準価額（C／D）	**11,232円**

＊期首における元本額は1,856,062,801円、当作成期間中における追加設定元本額は40,585,113円、同解約元本額は672,209,149円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は11,232円です。

■損益の状況

当期　自 2023年７月21日　至 2024年１月22日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	△ **1,551円**
受取利息	560
支払利息	△ 2,111
(B)有価証券売買損益	**186,567,475**
売買益	206,054,275
売買損	△ 19,486,800
(C)信託報酬等	△ **15,888,783**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**170,677,141**
(E)前期繰越損益金	**104,310,482**
(F)追加信託差損益金	**22,827,579**
(配当等相当額)	(4,692,167)
(売買損益相当額)	(18,135,412)
(G)合計（D＋E＋F）	**297,815,202**
(H)収益分配金	△ **146,932,651**
次期繰越損益金（G＋H）	**150,882,551**
追加信託差損益金	22,827,579
(配当等相当額)	(4,692,167)
(売買損益相当額)	(18,135,412)
分配準備積立金	128,054,972

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,759,591円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	164,917,550
(c) 収益調整金	22,827,579
(d) 分配準備積立金	104,310,482
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	297,815,202
(f) 分配金	146,932,651
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	150,882,551
(h) 受益権総口数	1,224,438,765口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ	
1 万 口 当 り 分 配 金（税 込 み）	1,200円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■ファンド名称の変更について
ＥＳＧ投信に関する金融庁の監督指針の改正を受け、ファンドの名称を変更しました。

変更前	変更後
グローバル・サステナブル・サービス関連株式ファンド	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式ファンド
グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

運用報告書　第４期　（決算日　2024年１月22日）

（作成対象期間　2023年７月21日～2024年１月22日）

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

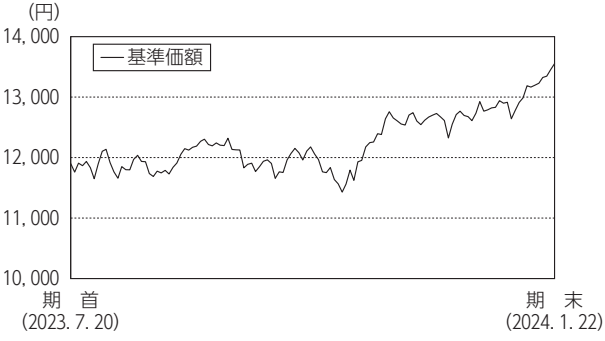
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（ＤＲ（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2023年 7 月20日	11,901	—	12,210	—	98.1	—
7 月末	11,898	△ 0.0	12,390	1.5	97.9	—
8 月末	12,148	2.1	12,548	2.8	98.0	—
9 月末	11,938	0.3	12,277	0.5	97.4	—
10月末	11,563	△ 2.8	11,870	△ 2.8	97.8	—
11月末	12,618	6.0	12,747	4.4	98.2	—
12月末	12,916	8.5	12,958	6.1	98.2	—
(期末) 2024年 1 月22日	13,554	13.9	13,464	10.3	98.4	—

（注１）騰落率は期首比。
（注２）MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,901円　期末：13,554円　騰落率：13.9%

【基準価額の主な変動要因】

世界株式市況が上昇したことや、為替相場で対米ドル主導で円安が進行したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年８月中旬にかけて、米国の力強い経済指標やインフレ率の高止まりを受けて長期金利が上昇したことが嫌気され、軟調に推移しました。９月のＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）において政策金利の見通しが引き上げられたことなどから、10月末にかけて一段と下落しました。しかしその後は、欧州の物価指標の伸び率が鈍化したことや、米国雇用市場の過熱感が緩和されたことなどから反発に転じ、12月のＦＯＭＣにおいて政策金利見通しが引き下げられ、利下げ開始時期が早まるとの期待が高まったことから、株式市況は当作成期末にかけて大幅に上昇しました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より2023年11月中旬にかけて、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、上昇しました。その後12月末までは、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識されて米ドルは対円で上昇幅をいったん縮小したものの、2024年に入ると、景気が市場想定以上に堅調に推移していることが明らかとなり、再び米国金利が上昇に転じたことなどに伴い、当作成期末にかけて上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および１人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントは、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および１人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

■１万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	7円
（株式）	(7)
有価証券取引税	1
（株式）	(1)
その他費用	5
（保管費用）	(4)
（その他）	(1)
合計	12

（注１）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
（注２）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株式

（2023年７月21日から2024年１月22日まで）

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
		千株	千円	千株	千円
国内		—	—	9.4	32,565
		(—)	(—)		
外国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		173.3	1,113	601.45	5,544
		(—)	(—)		
	イギリス	百株	千イギリス・ポンド	百株	千イギリス・ポンド
		48	58	221.6	307
		(—)	(—)		
	インドネシア	百株	千インドネシア・ルピア	百株	千インドネシア・ルピア
		—	—	1,867	716,368
		(—)	(—)		
	ユーロ（オランダ）	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		—	—	81.1	401
		(—)	(—)		
	ユーロ（ドイツ）	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		—	—	88.3	328
		(—)	(—)		
	ユーロ（ユーロ通貨計）	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		—	—	169.4	729
		(—)	(—)		

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株　　式

(2023年7月21日から2024年1月22日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
VERIZON COMMUNICATIONS INC (アメリカ)	5.6	29,775	5,317	INTUIT INC (アメリカ)	0.59	48,097	81,520
AMAZON.COM INC (アメリカ)	0.85	18,433	21,686	COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	0.54	48,047	88,977
POWERSCHOOL HOLDINGS INC CLASS A (アメリカ)	5.2	17,513	3,367	ACTIVISION BLIZZARD INC (アメリカ)	2.95	40,656	13,781
PALO ALTO NETWORKS INC (アメリカ)	0.36	14,211	39,476	ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A (アメリカ)	1.33	39,688	29,840
HUBSPOT INC (アメリカ)	0.15	10,514	70,096	MICROSOFT CORP (アメリカ)	0.75	39,352	52,470
S&P GLOBAL INC (アメリカ)	0.19	10,413	54,807	MSCI INC (アメリカ)	0.49	38,602	78,781
ADOBE INC (アメリカ)	0.1	8,213	82,137	WOLTERS KLUWER (オランダ)	1.86	36,406	19,573
ACTIVISION BLIZZARD INC (アメリカ)	0.6	7,828	13,048	PLANET FITNESS INC - CL A (アメリカ)	3.87	35,377	9,141
HEALTHEQUITY INC (アメリカ)	0.75	7,471	9,962	SCOUT24 AG (ドイツ)	3.53	35,241	9,983
NASDAQ INC (アメリカ)	0.8	5,988	7,485	ADOBE INC (アメリカ)	0.425	35,204	82,833

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)国内株式

銘柄		期首	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
電気機器 (100.0%)				
ソニーグループ		3.7	2.5	37,000
精密機器 (—)				
メニコン		8.2	—	—
		千株	千株	千円
合計	株数、金額	11.9	2.5	37,000
	銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄	<2.7%>

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
PALO ALTO NETWORKS INC	—	3.6	121	18,019	情報技術
ADOBE INC	8.05	4.8	293	43,503	情報技術
VERIZON COMMUNICATIONS INC	—	44	173	25,646	コミュニケーション・サービス
ESSENTIAL UTILITIES INC	76.5	46.5	171	25,380	公益事業
MSCI INC	10.4	5.5	304	45,150	金融
NASDAQ INC	76	51	295	43,724	金融

グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
VAIL RESORTS INC		13.2	8.3	185	27,450	一般消費財・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC		8.4	5.2	240	35,715	金融
COSTCO WHOLESALE CORP		10.3	4.9	340	50,467	生活必需品
ACTIVISION BLIZZARD INC		23.5	—	—	—	コミュニケーション・サービス
COSTAR GROUP INC		53	38.2	314	46,608	不動産
DEXCOM INC		30.8	12.9	164	24,335	ヘルスケア
T-MOBILE US INC		30.5	18.8	310	46,016	コミュニケーション・サービス
AMAZON.COM INC		—	8.5	132	19,568	一般消費財・サービス
HEALTHEQUITY INC		49	24.6	179	26,672	ヘルスケア
S&P GLOBAL INC		8.2	6.3	278	41,263	金融
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A		22	10.2	247	36,726	情報技術
GODADDY INC - CLASS A		28.3	16.5	178	26,419	情報技術
WIX.COM LTD		26	11.2	142	21,104	情報技術
PAYCOM SOFTWARE INC		9.4	4.9	94	14,058	資本財・サービス
HUBSPOT INC		8.4	5.8	337	49,974	情報技術
MATCH GROUP INC		55.8	27.8	100	14,856	コミュニケーション・サービス
ALARM.COM HOLDINGS INC		48	31	190	28,291	情報技術
PLANET FITNESS INC - CL A		73.9	35.2	263	39,036	一般消費財・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A		6.4	3.6	133	19,798	コミュニケーション・サービス
WALT DISNEY CO/THE		18.5	11	102	15,170	コミュニケーション・サービス
DESCARTES SYSTEMS GROUP INC		37.4	25	217	32,207	情報技術
SOHO HOUSE AND CO INC CLASS A		230	151	96	14,254	一般消費財・サービス
POWERSCHOOL HOLDINGS INC CLASS A		—	41	98	14,631	情報技術
NETFLIX INC		6.8	3.9	188	27,913	コミュニケーション・サービス
BJS WHOLESALE CLUB HOLDINGS INC		35	28	183	27,258	生活必需品
ORACLE CORP		26	14.3	156	23,241	情報技術
NEW YORK TIMES CO-A		85.3	38.8	186	27,600	コミュニケーション・サービス
FRONTIER COMMUNICATIONS PARENT INC		105	63	141	20,988	コミュニケーション・サービス
MICROSOFT CORP		14.5	7	279	41,358	情報技術
INTUIT INC		11.6	5.7	354	52,558	情報技術
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	1,246.15	818	7,199	1,066,971	
	銘柄数＜比率＞	32銘柄	35銘柄		＜78.1%＞	
		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
(イギリス)						
AUTO TRADER GROUP PLC		386	247	176	33,161	コミュニケーション・サービス
RELX PLC		77	51.3	168	31,692	資本財・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		26.5	17.6	160	30,298	金融
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額	489.5	315.9	505	95,152	
	銘柄数＜比率＞	3銘柄	3銘柄		＜7.0%＞	
		百株	百株	千インドネシア・ルピア	千円	
(インドネシア)						
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK		6,322	4,455	1,755,270	16,675	コミュニケーション・サービス
インドネシア・ルピア通貨計	株数、金額	6,322	4,455	1,755,270	16,675	
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	1銘柄		＜1.2%＞	

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（オランダ）						
BASIC-FIT NV		93	64.5	168	27,211	一般消費財・サービス
WOLTERS KLUWER		41	22.4	307	49,693	資本財・サービス
SIGNIFY NV		91	57	166	26,947	資本財・サービス
国小計	株数、金額	225	143.9	642	103,853	
	銘柄数＜比率＞	3銘柄	3銘柄		＜7.6%＞	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（ドイツ）						
SCOUT24 AG		58.5	23.2	151	24,439	コミュニケーション・サービス
HELLOFRESH SE		53	—	—	—	生活必需品
国小計	株数、金額	111.5	23.2	151	24,439	
	銘柄数＜比率＞	2銘柄	1銘柄		＜1.8%＞	
ユーロ通貨計	株数、金額	336.5	167.1	794	128,293	
	銘柄数＜比率＞	5銘柄	4銘柄		＜9.4%＞	
ファンド合計	株数、金額	8,394.15	5,756	—	1,307,092	
	銘柄数＜比率＞	41銘柄	43銘柄		＜95.7%＞	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）＜　＞内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年1月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	1,344,092	97.7
コール・ローン等、その他	32,333	2.3
投資信託財産総額	1,376,425	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.20円、1イギリス・ポンド＝188.35円、100インドネシア・ルピア＝0.95円、1ユーロ＝161.52円です。
（注3）当期末における外貨建純資産（1,315,542千円）の投資信託財産総額（1,376,425千円）に対する比率は、95.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年1月22日現在

項目	当期末
(A)資産	**1,376,425,520円**
コール・ローン等	31,572,587
株式（評価額）	1,344,092,062
未収配当金	760,871
(B)負債	**10,604,746**
未払金	4,904,746
未払解約金	5,700,000
(C)純資産総額（A－B）	**1,365,820,774**
元本	1,007,702,098
次期繰越損益金	358,118,676
(D)受益権総口数	**1,007,702,098口**
1万口当り基準価額（C／D）	**13,554円**

＊期首における元本額は1,713,982,724円、当作成期間中における追加設定元本額は15,321,411円、同解約元本額は721,602,037円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式ファンド　1,007,702,098円
＊当期末の計算口数当りの純資産額は13,554円です。

■損益の状況

当期　自 2023年７月21日　至 2024年１月22日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	**7,704,349円**
受取配当金	7,169,742
受取利息	538,358
その他収益金	2
支払利息	△ 3,753
(B)有価証券売買損益	**194,875,465**
売買益	289,216,416
売買損	△ 94,340,951
(C)その他費用	△ **651,777**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**201,928,037**
(E)前期繰越損益金	**325,810,013**
(F)解約差損益金	△ **172,497,963**
(G)追加信託差損益金	**2,878,589**
(H)合計（D＋E＋F＋G）	**358,118,676**
次期繰越損益金（H）	**358,118,676**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》
■ファンド名称の変更について
ＥＳＧ投信に関する金融庁の監督指針の改正を受け、ファンドの名称を変更しました。

変更前	変更後
グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	グローバル・サブスクリプション・サービス関連株式マザーファンド